



永年夢アイデア募集に提案をいただいている緒方さんのコラムをシリーズでお届けします。

(第 24 回～第 27 回)

第 26 回

夢アイデアとともに歩んできた道 No3

平成 28 (2016) 年 6 月

3. 夕陽風景時計の夢アイデア・シリーズ

夕陽風景時計は、予想外の展開を見せていますが、駆け出しは提案の付録からでした。

(1) 応募 4 (H19 年)、応募 5 (H20 年) の提案で触れた「夕陽」

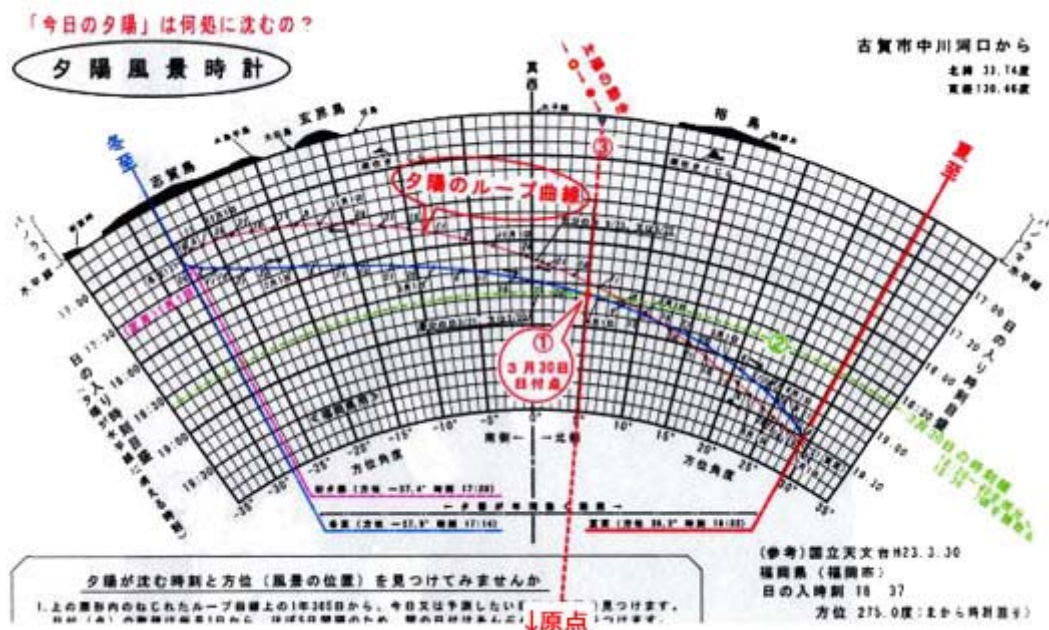
応募 4 は、2 市 1 町松林遊歩道の途中に、日没方向を季節別に案内する提案の付録でした。

その翌年、夕陽も有名なハワイで、水平線に沈む光景に感動していたところ、その後、ナント福間海岸でも水平線に沈む神秘的夕陽が見られたのです。それからというもの、晴れた日には、新聞の日没時刻前に海岸へ急いだものの、島に隠れたり、または、今日は水平線に沈むとドキドキ待っていると斜めに落ちて島陰だったり(周りからもガツカリのため息)。何度か繰り返す内に、夕陽は沈む位置が毎日微妙に移動し、ある角度で傾斜して沈むことが分かりました。そこで、「日時計盤」みたいな装置で、なんとか海辺で沈む方位を予測できないかと考えたのです。

日々の日没方位と時刻は、国立天文台情報から得られることを知り、試行錯誤の末、「極座標」上にプロットしたところ「∞字形」(「夕陽ループ曲線(以下「夕陽曲線」と称す))を描き、しかも、毎年同じ夕陽曲線となるため予測に使えることから、実用新案に登録。それから、応募 5 では、松林遊歩道の海岸に、もう一つの宝「夕陽」の「日没時計」の設置を脇役的に提案したものを。

【その後のできごと】

応募 5 パワポ作品を見た古賀市仲間からは、松林勉強会で見せて欲しいと頼まれました。翌年説明すると、意外にも「日没時計」設置の注文が地元区長から出てきたのです。その頃、福岡海岸のカフェに（H21.01）置いていた試作品は A3 サイズ用紙に手描きの室内用。しかし、注文品は屋外用で 1m もあり、紙製は無理であり金属加工が必要。それから、松林仲間や旧知の建築士の協力を得て、CAD 設計法を開発し、綺麗な製図が可能に。区長の熱意と行政の協力で完成しました（図 5）。予測法は、知りたい月/日①を、夕陽（ループ）曲線上の 365 日（5 日毎表示）から選び、極座標原点からその①点までの長さ（動径＝左右に時刻換算目盛り）で時刻が分かり、原点からその点①を經由して最外動径（水平線）に交わる点③が沈む方位（位置）になります。



(図5)古賀市中川河口の夕陽風景時計(落成式でシオリとして配布)

島影をこの水平線上にシルエットで描くことで、日没位置が水平線か、島々の何処が予め分かります。カメラマンには、夕陽のアクセサリとなる風景との構図が予め分かり喜ぶハズ。

カフェ店主から（夕陽が無くて）「風景が分かるから助かる」と聞き、「夕陽風景時計」と名付けました。「夢アイデア」委員会も現物を確認。H.23.03 の落成式では、地元松林関係者、手伝と除幕をした子供達、古賀市長等名士も列席され、参加者総勢は約 100 名にのぼりました。

(2) 年々バージョンアップした「夕陽風景時計」

夢アイデア応募は、次回以降は毎回夕陽を主役に、表示内容の追加など、バージョンアップを図りながら、応募 6、応募 7、応募 8 と、飽きもせず連続応募しました。

応募 6 : H.21 年「『神秘』の小半時を楽しむ」…夕陽軌道を描き、「見頃時刻」表示

応募 7 : H.22 年「五つ星『夕陽』」…ランク付けで、福津市の夕陽は特段の「7 つ星」

応募 8 : H.23 年「世界に夢を広げる『夕陽風景時計』」…先ず「着想地に実現を夢みている」

【その後のできごと】 海外に関する話題を 2 つ。H24.06 ロサンゼルス在住の女性が、親の看病のため一時帰国し、古賀海岸の夕陽風景時計に癒されたとの手紙を古賀市長に届け、夕陽風景時計は人の心に癒しを与えるという想像外の効果を知りました。

それと、海外旅行予定の友人には、行先地の夕陽の特徴を教え、応募 8 作品の夕陽曲線・軌道図面を渡して、できれば情景確認をと依頼しました…が効果不明瞭。

古賀市の夕陽風景時計は、今や市の名所と言われ、H27 年には観光雑誌にも写真紹介されました。

応募 8 の着想地実現の夢は、以心伝心「津屋崎千軒海とまちなみの会」会長・会員の企画・努力で、福津市制 10 周年（H.27 年）の記念事業の一環として、H26 年 7 月に、嬉しいことに福津市宮地浜に設置されました。

宮司浜は夕陽名所で見る人も多く、沈む位置は、通常は水平線か何れかの島です。（写真 5）は、夕陽情景と夕陽風景時計版の合致状況。（写真 6）は夏至の前の頃に半島に沈む夕陽情景と眺める人達を示しています。

なお、この事業は、夕陽風景時計を起点に宮司松林の遊歩道を通り、アサギマダラが寄る砂引き草（6 月）等植生、津屋崎千軒、宮地嶽神社に続く「津屋崎フットパス」であり、H.27.10 には、日本の「新しい道紀行 100 選」に選定されました（福岡県では唯一選定）。



(写真 5) 夕陽と夕陽風景時計版 05.26.19:14



(写真 6) 半島に隠れる夕陽 06.21.19:22

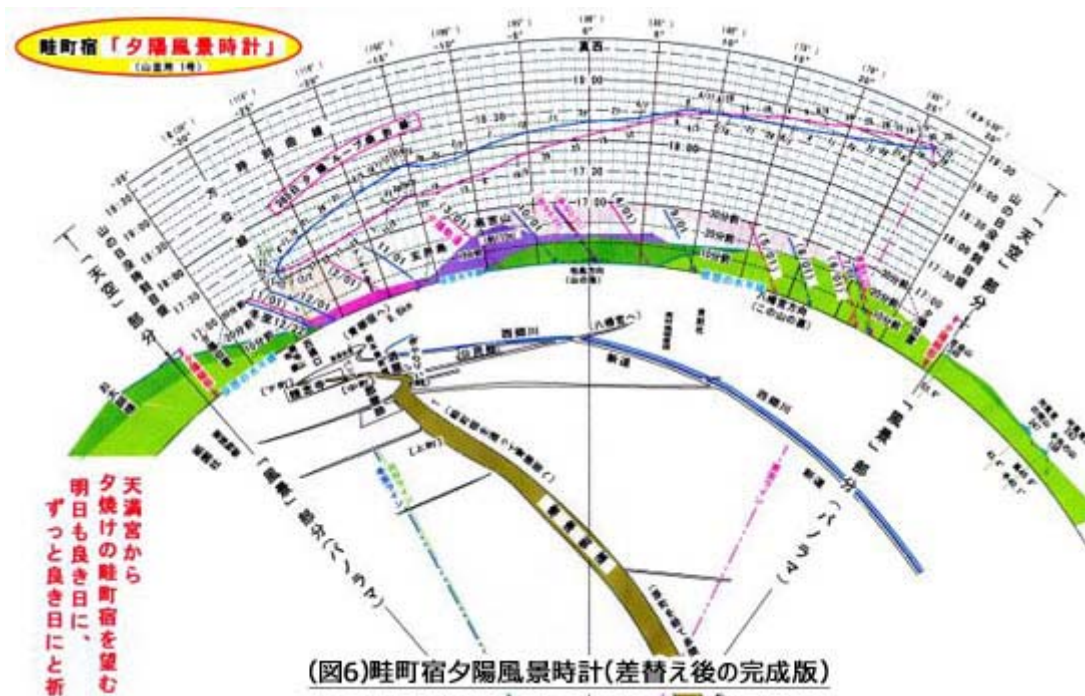
(3) 応募 12 : H.27「まちを照らし直す夕陽」

古街道の「唐津街道」は、福津市では内陸部の「畦町宿」を通ります。H24年に「町並み保存会」が発足し、最近では、「畦町物語」発行や、宿場を見渡せる櫓風の展望台を、丘の上の天満宮階段の途中に設置しました。そして、その展望台から夕陽が見えるので、H27年秋の「畦町宿祭」に合わせて、「夕陽風景時計を付けられないか」との思いがけない相談がきました。

しかし、天文台情報は水平線上の方位と時刻。内陸部では山に沈む方位（位置）と時刻でなければ意味がありません。幸い、過去に夕陽軌道を描いたので、計算で何とかならうと挑戦の積りで引受けました。ただし、経費を掛けぬよう会の事務局長と頭をひねり、展望台に譜面台状の平板を取付け、その上に載せるA3版ラミネート加工時計版を差替可能な構造で作ることに。

海辺用「夕陽曲線」は、水平線の手前海面部に描きました(図5参照)。畦町宿では、(仮想)水平線の手前には、見下ろせる唐津街道と宿場全景がきます。従って、夕陽曲線は山の稜線のさらに上の天空に描くほかありません(図6参照)。それで、祭日には暫定版を取付けました。

「太陽は東から昇って西に沈むもんと思ってた」程度の夕陽の関心度でしたが、展望台から見れば、夕焼け空や、移動する夕陽、夕陽に映えて畦町の屋根々々の輝きがあり、大人達はもとより、子供達の郷土愛や夢にも繋がると考えたのです。応募 12 : H.27「まちを照らし直す夕陽」



【その後のできごと】

修正作業に加え、峰の数が多いため計算量が増え、予想外に手間取りましたが、H27 年末に完成版に差替え（図 6）、現地夕景色と合致しており実用性も確認して安堵（写真 7）。

夕陽曲線は、内陸用になると（図 6）のように折線も混じるので、「夕陽ループ 曲折（ワクワツ）線」と名付けました。

ところが、夕陽風景時計が複雑で見方が分かり難いということから、会員への説明会を開くことになりました（H28.02 末）。そこに、他の取材もあってか、新聞記者も同席していました。

パワポで紐解いて説明し、提案等も加えました。

「名前がない山々に名前を付けてはどうか。夕陽風景時計にも表示すると、子供も親しみが湧くだろう」と。すると、話が進展し、世界文化遺産登録を目指す神宿る島「沖ノ島」の話題に。

昔、畦町でも沖ノ島に向かって、沖ノ島拝礼の「籠り」を「万年願い」という名で、毎年 9/25 に行われていたとのこと。そこで、沖ノ島は見えなくても、また夕陽が動く範囲外ですが、夕陽風景時計のパノラマに「沖ノ島」方向を表示することにしました。

また、西の方の山間に、晴れた日に見えた不明瞭な小さな山影は、夕陽風景時計の計算から「玄界島」と判明。そこで、2 月 12 日前後と 10 月 30 日前後に沈む表示をしたところ、それに合わせたイベントの話が出てきました。

今まで、夕陽風景時計の新聞報道は、設置の度ありましたが、今回は、「特別な夕日 地域に生かせ」との見出しで、「夕陽風景時計好評」と、さらに「まちおこしに生かす"夕日おじさん"」と地域に影響させていることから、紙面半分の大きさを扱ってくれました（写真 8）。

奇しくも、応募 13「まちを照らし直す夕陽」～夕陽風景時計が人をつなぐ～のテーマに合った新聞記事となり、地元にも喜ばれました。夢アイデアが生きたと思っています。



（写真 7）夕陽風景時計と畦町宿夕景



（写真 8）夕陽風景時計の新聞記事
（H28.03.29 西日本新聞朝刊・九州）

緒方 義幸

第 2・6 回佳作、第 3 回優秀賞、第 4 回市民大賞受賞者

続きはコラム第 27 回で